

## 全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会

件名: 全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA)【情報 Vol.2 5 4】

各位 (本情報提供メールは当会会員、協力弁護士、協力医、報道機関、医療過誤団体、野党政党等の約400カ所へ送信しています)

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA) の多田雅史です。  
本メールはベンゾジアゼピン (BZD) 関連情報をお送りしています。  
情報提供の送信方法を変更し、本メールでは【目次】のみを送信し、  
【本文及び添付ファイル】は、下記のBYA-HPを参照いただく方式としました。

### 【目次】

1. 川田龍平といのちを守る会 (領収書添付)
2. 精神科医が患者に「不適切な診療」と「性暴力」 遺族が告発した実態とは (添付)
3. マッキンゼー、オピオイド中毒巡る訴訟で州当局と和解 (添付)
4. ベンゾジアゼピン薬害被害者の障害年金の受給決定 (情報提供)
5. 女子医大のプロポフォール事件、民事裁判が結審 (添付)
6. 新潟県立新発田病院の医療事故、和解成立 (添付)

### 【記事】

1. 川田龍平といのちを守る会 (領収書添付)

当会は、川田龍平参議院議員主催の「川田龍平といのちを守る会」の会員として、議員を応援し、ベンゾジアゼピン薬害の解決に向かって尽力する。

2. 精神科医が患者に「不適切な診療」と「性暴力」 遺族が告発した実態とは (添付)

<https://news.yahoo.co.jp/byline/ogawatamaka/20210118-00218121/>

以下引用

『医師の周辺では、女性患者1人と診療所の従業員1人が自死。どちらも医師から向精神薬を処方され、モラハラあるいはパワハラ的な言動を受けた上で性的関係を持たされていた。女性患者のスマートフォンからは、医師による性的あるいはモラルハラスメント的なメッセージが大量に見つかり、女性が心理的にコントロールされていたことを伺わせる内容もあった。』

処方薬のベンゾジアゼピン依存症にさせられて、その処方をネタに、不合理な要求をする医師。あなたの周りにもたくさんいる。

3. マッキンゼー、オピオイド中毒巡る訴訟で州当局と和解 (添付)

<https://jp.reuters.com/article/usa-mckinsey-idJPKBN2A40J0>

以下引用

『2月3日、コンサルティング会社マッキンゼー・アンド・カンパニーは、医療用麻薬「オピオイド」中毒問題への関与や、オピオイド系鎮痛剤メーカーの米パーデュ・ファーマへの助言を巡り米国の43州などが起こした訴訟について5億7300万ドル以上を支払い和解することで合意した。』

4. ベンゾジアゼピン薬害被害者の障害年金の受給決定 (情報提供)

あるベンゾジアゼピン薬害被害者から「障害年金の受給が決定した」との連絡があった。その詳細な内容は不知であるが、救済の手が伸ばされたことは喜ばしい。

5. 女子医大のプロポフォール事件、民事裁判が結審 (添付)

<https://www.m3.com/open/iryolshin/article/868832/>

2021/02/07 21:23

6. 新潟県立新発田病院の医療事故、和解成立（添付）

<https://www.niikei.jp/53320/>

以下引用

『新潟県は5日、医療事故に係る訴訟案件について、裁判所から和解案が提示され、県と相手方の双方が同意する見込みとなったことから、令和3年2月議会に損害賠償額の決定について提案すると発表した。損害賠償額（2月議会提案予定）は、2, 260万1, 380円。』



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 多田雅史